

令和5年度 大分県ものづくり循環経済促進セミナー

テーマ:「持続可能なものづくり」に必要な「モノ」の価値の再考
～「SDGs目標ゴール12 つくる責任」を果たそう～

WEB

市場や社会からの環境配慮要請は急速に高まっており、消費者の購買行動(エシカル消費の拡大)や投資家の投資行動(ESG投資)が変化している中、サーキュラーエコノミーは、企業の生き残りに関わる大きな動きになってきます。そこで、持続可能なものづくり産業への転換を促進するためのセミナーを開催します。



- 投資家、株主、消費者による環境配慮要請を無視していると、事業が継続できない時代がやってくる?
- 大企業によるサプライチェーンへの要請が中小企業にも突然に!?
- Z世代の高い環境意識に敏感にならないと、将来の消費者だけでなく、雇用の担い手への訴求もできなくなるなあ。


12 つくる責任
つかう責任



どんな視点が
必要なんだろう!?

製品、サービス、
製造工程などの
イノベーションが
必要です。

「発想の転換(Rethink)、
できていますか?」

主催	大分県
対象	県内企業(主に製造業)の経営層、直接部門の管理者等
日時	令和6年3月13日(水) 13:30~16:10
開催方法	オンライン(Microsoft Teams)
申込方法	https://00m.in/QhGpE 

申込は
3/8(金)
まで

※申し込み後、登録のメールアドレス宛に、セミナーの接続URLが自動送信されます。

基調講演 (13:40~14:25)

「成長志向型の資源自律経済戦略と日本の資源循環経済政策」について
経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 総括補佐 吉川 泰弘 氏

講演 (14:25~15:50)

「サーキュラーエコノミー実践。循環型ビジネス構築に向けて」

サークルデザイン株式会社 代表取締役 那須 清和 氏

米大学卒業後、二社を経て、サーキュラーエコノミーに特化した共創・コンサルティング・リサーチ・研修業務などを行うサークルデザイン株式会社を2020年に設立。

Circular Economy Hub 編集長(ハーチ株式会社運営)、愛知県蒲郡市サーキュラーシティプロジェクトアドバイザー、(一社)日本サステナブルサロン協会理事、ビジネスアクセラレーターかながわ(BAKバク)メンターなども務める。

事業紹介 (15:50~16:05)

「大分県産業廃棄物削減等ものづくり補助事業」について 大分県(工業振興課)

※当該セミナーの受講(要アンケート回答)は、来年度予算成立後に実施予定の補助事業(大分県産業廃棄物削減等ものづくり事業)の公募において、審査加点対象となります。



工業振興課
管理・環境班
097-506-3265

参考資料

循環経済ビジョン2020（経済産業省 2020.5）

- 「環境と成長の好循環」を図るため、
環境活動としての3R(Reduce・Reuse・Recycle) から
循環経済(Circular Economy)への転換が必要

事業活動の持続可能性を高め、中長期的な競争力を確保するため、あらゆる産業において、経営戦略・事業戦略として、「循環性の高いビジネスモデル」へ移行することが重要。

特に、ものづくり産業においては、資源投入量・消費量を抑えつつ、設計から廃棄段階まで含めたモノのライフサイクル全体を考慮した製品づくりをデザインしていく必要があります。

☞SDGsゴール⑫「持続可能な生産と消費(作る責任、使う責任)」

